

社会福祉法人  
日本医療伝道会  
Japan Medical Mission  
http://www.kinugasa.or.jp/

# 衣笠

Volume. 38 Issue. 1

～「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」マタイによる福音書25章40節～

## 第412号

### 第七回衣笠ホスピス公開シンポジウム

— 希望を支えるホスピスケア —



十一月四日にヨコスカ・ベイサイト・ポケットにて第七回衣笠ホスピス公開シンポジウムが開催されました。第一部では、神戸六甲病院緩和ケア病棟チャプレンの沼野尚美先生により「生と死を見つめて共に生きる」という演題で講演が行われました。講演では先生自身が経験された阪神淡路大震災や、何千人という患者の死を通して、人には心があり、心に喜びや楽しみ、希望があれば自分らしく人生を輝かせることは出来ない、また十分生きてこられたという納

得が必要であると語ってくださいました。さらにマザーテレサのインドでの活動から、あなたは愛されているのだ、愛される価値のある人間であると最後の瞬間にそう感じられる援助が大切であり、そういう援助を受けられることで自分の人生に満足し、納得することが出来るということとを話してくださいました。

また、援助する者の心得として、三つのことを挙げて話してくださいました。一つ目は暖かい存在感、必要とされる存在感です。つまりあなたが居るだけでほっとする、心が安らぐといわれるような存在になることであり、それには表情がとても大切であるという事です。二つ目は希望を支えることです。痛みがない、食べるものが美味しくないなど、日々の何気ない生活の希望と死後も家族と繋がっていたいという、死を超えた希望を支えることです。三つ目は聴くということです。ただ聞くのではな

く、その方の課題や試練といった困難を共に背負うような傾聴が必要であると仰っていました。最後にアメリカで起きた九・一一テロ事件を通じて得た、分かっていると言わなければならぬ大切な言葉があるというお話でした。それは患者から家族へ「ありがとう」「愛している」などの言葉であり、分かっているだろうから言わないのでは、本当の意味で気持ちは通じないのです。言葉に出して表現することが重要であり、援助者は今それを語らせる援助が大切であるというお話で講演は終了しました。



衣笠ホスピス  
医師 片町守男

第二部は「私たちに出来ること」というテーマで医師、看護師、ボランティアそれぞれの立場で発表を行いました。

私は医師という立場から症状緩和の重要性と最後までその人らしく生きていくために、チームで支えていくことの大切さを提言させていただきました。

ホスピスの谷村看護師は、事例を通して患者様の日常生活を

自分たちのカラーで支えるホスピスケアについて発表しました。ホスピスボランティアの高沢裕子さんは、一人の患者様を通して患者様がスピリチュアルな痛みを吐き出し、苦しみが和らぐよう皆で信頼を繋ぎ合っていることの大切さを伝えてくれました。

それぞれの発表後、佐々木ソーシャルワーカー、山田牧師、「さくら」の会（ホスピス遺族会）の加藤雅子さんが加わって、質疑応答が行われました。例年会場からの質問がそれほど多くないため、質問がしやすいように今回から会場へ入る際、質問用紙を予め配布しておき、休憩時間に回収し、それを基に座長の橋本病院長から各シンポジストに質問をする形式を取りました。質疑応答の時間が三十分程度しか取れなかったのですが、橋本病院長の明快で鋭く、それでいて楽しい司会もあって、回収した多くの質問内容に答えることが出来ました。

最後に、今回のシンポジウム開催にご協力いただいたスタッフやボランティアの方々から心から御礼を申し上げたいと思います。本当にご協力ありがとうございました。



衣笠病院 医療福祉相談室  
医療ソーシャルワーカー 佐々木裕美子

## 第七回衣笠ホスピス公開シンポジウム

— 会場からの質問に答えて —

**Q** 死にゆく人とのコミュニケーションの大切さについて、認知症の方々の「人らしい最期」は、どのようにして可能だと思いますか。

**A** 講師…ホスピスは選択して入院するため、認知症の方は少ない。しかし心と心が通じるところがあり、認知症となる前を垣間見ることもある。

**牧師**…誰にでもその人の核となるものがあり、その人の人生の中で核は最後まで残る。核のある方と関わることは、認知症か否かではなく、その方の中で大切なものが芽生え、援助者として援助されていると感じることも多々ある。

**Q** 在宅ホスピスの計画はありますか。

**A** 講師…在宅ホスピスを望む人が増えており、国会でも様々な予算審議がされている。在宅では生命保険が出ないことなど、医療保険制度がどのように変わるか。ケースによって、行政やボランティアなどの支援も重要。また、良い医師を探すことも大切。

**Q** 「死を越えた希望」について、無神論の場合はどのようにイメージされるのでしょうか。

**A** 講師…無神論者でも、自分のなぐさめを持つ人が増えている。以前「四次元に行く」と言った方もいた。それぞれの人の人生や考え方を吸収し、死をどうイメージするか、安らかなイメージ作り協力させていただいている。

**Q** 衣笠ホスピスに入りたいとき、どのような条件が必要ですか。(癌患者でなければならぬのか、費用の点、空いていけばすぐ入れるのか)

**A** MSW…衣笠ホスピスは癌の方しか対応していない。費用は医療保険対応であり、生活保護や公費も対応可能。介護保険対象ではないので、入院のために介護保険を申請する必要はない。入院に際し、ホスピスを理解し選んでいただくため、MSWより見学や説明を行い、ホスピス外来・判定会議と進めるため多少時間がかかる。最近入院までに時間がかかることがあるため、希望

があれば早めに相談してほしい。

**Q** 慣れた医師、環境でホスピスケアを受けることはできないものか。ホスピスは独立的にあるものでしょうか。

**A** 講師…ホスピスは癌特有の痛みを緩和する為、それだけの力量の医師・看護師がいれば可能であるが、今の医療体制では、治療しないとられないという状況。ホスピスにはそれなりの環境や体制という良さはあるが、慣れた医師と離れてしまうということもあり、どちらが良いとは言えない。ホスピスに入ることが一番の幸せではなく、一つの選択肢として受け止めて欲しい。

**医師**…現実には知識・技術がそろうっている一般病院は少なく、緩和ケアを指導する体制もない。緩和ケアができる医師が、各病院に一人ずつでもいるとよいが。

**Q** 紹介されたケースの、モルヒネを使用したきつかけの言葉は何だったのですか。

**A** 看護師…このケースの場合は、医

師の「大丈夫」の一言で納得した。看護師との信頼関係があった。治療については医師への信頼が厚かった。

**医師**…年配者は特にモルヒネへの抵抗が強い。その時に説明するのではなく、体調が良いうちにモルヒネについてもインフォメーションしておく。

**Q** 遺族に対するグリーフィングは、どのようにあるべきでしょうか。

**A** 講師…六甲病院では、担当看護師が年に二・三通手紙を出し、遺族の会を年二回行なっている。全ての方をケアすることはできていないかもしれない。システムが何か確立しているわけではない。遺族…三年前に遺族会「さくら」の会」を立ち上げた。年一回懇話会を開催している。今では約二百名の会員がいる。病院では年一回追悼会をしており、そこで初めて自分ひとりではないという思いがもてる。

**Q** 一般の私達が、衣笠ホスピスに協力できることは何ですか。

**A** ボランティア…一つはボランティアとして、行事などへ関わっていただくこと。もう一つは、ホスピスの良き理解者として関わっていただけること。



衣笠ホーム介護部  
主任 小池敦子

# 人と人のつながりが創る 「居場所」

— ユニットケア施設内発表会を終えて —

芦名へ移転して二年が経ち皆様のご支援によって三年目を迎えることができました。去る十二月二日に「居場所」をテーマに第二回ユニットケア発表会が行われました。その様子をご紹介します。

毎日の介護に追われるなか、テーマについて考える間もなく過ぎていくのが現状でしたが、それぞれのかかりがよく伝わるものになっていったと思います。リビングという「場所」に注目し、個々の「居場所」を考えたユニット。多くの方が一緒に過ごす食事の場面をヒントに、食器やお盆を家で使うようにすることから職員の意識変化を捉えたユニットもありました。ホームでの生活を自分なりに工夫し過ごされている方と、家族への強い思いのなかにおられる方を取り上げ、自分たちは何をすべきかと考えたユニット。一年ではなく二年の経過を発表したユニットも複数ありました。日頃感じている様々な思いを訴えたところもありました。個々の生活観に気づき、その方のペースに合わせることでホームでの生活を受け入れていただく働き

かけをしていこう、また利用者ご本人とご家族、職員、ご家族同士のあいだがとても密になったというユニット。日常のかかりとしてのかる

真を交えての報告。認知症の方のかかりを通して心地よく過ごすことを考えたユニット。今やパソコンは必須アイテムの様で、パワーポイ



日向ぼっこや大正琴の演奏、お仲間とおしゃべりで心地よい時間を過ごされます。

たとりやペットボトルを再利用してのボーリング、隣同士のユニット合同でのオリーブ（地域交流スペース）での会食、日向ぼっこの様子など写



ントを駆使しBGM付きでご利用者を紹介して「居場所」についての考察を発表したユニット。ショートステイのユニットでは、在宅サービ

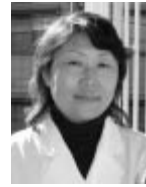
ゆえに自宅と「仮宿」としてのホームでの居心地を、おひとりのかたを事例として取り上げました。

今回は介護だけではなく看護、相談、栄養の各部も発表を行いました。看護はターミナルケアについて、今後のホームの大きな課題として示唆したものでした。相談と栄養は合同で事例を取り上げ、ホームでの食を通しての生活の質向上の報告でした。それぞれの報告の中に垣間見える

のは、個々の努力ではどうにもならない職員配置の問題です。九名のご利用者を一名の介護員でお世話をする時間も多くあります。目を離せない認知症の方の対応をしながら、様々なケアが求められます。介護報酬と職員配置の見直しは、厚生労働省に対しユニット型はもとより施設職員が切に望むところです。

井口延理事長と橋本勉専務理事も出席され、現場の生の声として聞いてくださったことはとてもうれしく思います。また、県立保健福祉大学の太田貞司教授においでいただき、最後にいくつかの助言をいただきました。まだ「衣笠ホーム的ユニットケア」は模索中です。ただひとつ変わらない指針は、ご利用者お一人おひとりの暮らしを考えていくことです。居場所は空間だけではなく、人と人の繋がりの中で創られていく、そう感じた発表会でした。

# 栄養ケアアマネジメントを始めて



衣笠病院 栄養科  
室長 龍崎桂子

二〇〇〇年度に開始された介護保険制度が、昨年十月に前倒しで五年目の見直しがあり、内容が一部改正となりました。その中の一つに「栄養」に関する大きな変革があります。

中心となる部分は「明るく活力ある超高齢化社会の実現」に向け介護予防の重要性の視点から、高齢者の心身機能・活動・生活機能の低下を予防し、要介護状態に陥らない、悪化させないことを重視する「予防重視システムへの切り替え」が挙げられています。もうひとつは、「栄養改善」が新たなサービスとして挙げられ、「栄養ケアアマネジメント」が位置づけられました。

では、栄養管理されているはずの介護保険施設にあらためて「栄養ケアアマネジメント」が位置づけられた意図は为什么呢。

実は現在、「介護保険施設」には管理栄養士が配置されて栄養管理が実施されているにもかかわらず、介護保険施設入居者・利用者の一部が栄養失調状態にあるとのデータがあるのです。なぜでしょうか？高齢者の栄養問題への取り組みは、生活習慣病の予防及び重症化予防を主な目

的として、過剰な栄養状態への対応を行ってきました。過剰である物は「ダメ」（Ⅱ制限：糖尿病だから饅頭はダメ。コレステロールが高いから揚げ物はダメ。血圧が高いから漬物・汁物はダメ。など）と禁禁食をつくり、病気によって必要となる薬の内服や食事制限、そして治療食（Ⅱ制限された食事）の摂取が、バランスの悪い食事提供となり、栄養状態を悪化させてしまっています。また、入居者・利用者への施設提供食は集団給食（Ⅱ一律の食事）として栄養管理を行い、嫌いな食べ物があるとその食品を禁食にすることで、さも「個人」に合わせた食事内容を提供しているように見せて「食事」に「個人」を対応（Ⅱ適応）させる、そうすることで私達栄養士は満足してきました。食物を変えただけで個人の栄養管理はしていなかったのです。

『ダメダメ制限食』で対応し、また型にはまった食事提供が、高齢者個人の「食べる楽しみ」を制限し、その結果食欲不振が起こりADL（Ⅱ日常生活動作）を低下させていました。

そこで、今回の改正では、「個人」

にスポットを当て、栄養状態を良くするために入居者全員に対しアセスメントを行い、その人の生活背景や生活習慣を知り、その人の生き方やQOL（Ⅱ生活の質）を尊重した栄養管理、ケアを行うよう「栄養

ケアアマネジメント」が位置づけられたということです。  
ケアに関わるスタッフ（介護・看護・相談・栄養）が一体となって、個人を見守り、話に耳を傾け、サポートしていきます。「食事」はその一つの手段であり、入居者・利用者がその人らしく暮らせるよう「栄養ケアアマネジメント」を実施していきます。

項目	内容	単位	基準
1	栄養スクリーニング		
2	記入者氏名	龍崎 桂子	作成年月日 平成17年10月5日
3	1A5 (3A4が2)		性別・年齢 要介護度
4	利用者氏名		女 2
5	生年月日	大正11年10月14日	83歳
6	(主治医の意見書が入手できた場合には画面に添付)		
7	低栄養リスクのレベル		
8	状況	現在の状況	低リスク
9	身長 (cm)	142.7 (cm)	
10	(測定日)		
11	体重 (kg)	54.9 (kg)	
12	(測定日)		
13	BMI	27.4	18.5~29.9
14	体重減少率 (%)	3ヶ月に (1.3) % (増・減)	変化なし (減少2%未満)
15	※(数値)は毎年の増加/減少率を示す		
16	血清アルブミン値	4.4 (g/dl)	3.6g/dl以下
17	基準値 (g/dl)		



1人ひとりのデータを参考にスタッフが話し合っ、自分で食べられるように一口おにぎりを作ってみました。

衣笠病院  
長瀬ケアセンター

# ～ 長瀬ケアセンター3年間の歩み ～ 新たな挑戦の4年目



長瀬ケアセンター  
所長 三縄久代

久里浜のフェリーを眺め、近隣刑務所の運動会に参加し、筋トレ教室やケアマネ訪問で奔走する中、やっとこの地域になじんできたかなあと、思うこの頃…三年間、皆様に見守られ助けられてここまでやってきました。ありがとうございます。

介護保険〇六（十八年）改定を目前にし、さらなる責任と事業運営の再構築が求められています。この改定を与件として受け止め、新たな挑戦をしていく四年目です。引き続き、皆様のご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

## 訪問看護事業所

管理者 橋本えみ子

十二月を迎え、もう三周年？と思うぐらい、あつという間の三年間でした。開設当初、二百名近いご利用者を抱え、挨拶廻りや書類の整備など、私自身緊張した日々でしたが、それを支えてくれたのが十九人の看護師スタッフでした。三年の間、色々なことがあった中で退職者が少なかったことは、皆で助け合い、協働出来た結果なのではないかと思えます。これからも地域の方々のご指導・ご高配を承りながら長瀬ケアセンターのさらなる発展のためスタッフ共々頑張っていこうと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

## 訪問介護事業所

管理者 栢沼洋介

ご利用者からよくこんな言葉を耳にします。「なんでこんなに長生きするんだらう。嫌になっちゃう…」。

人間が一番近い霊長類でボノボといういわゆるチンパンジーがいるのをご存知でしょうか。何とこのボノ



橋本えみ子

栢沼洋介

吉田勝利

古屋英樹

けに与えられた長寿はこのためだと、言われます。日々関わりを持たせていただく人生の大先輩方、あなたたちから受け取る知恵や知識は本当に貴重なものです。私達はこんな貴重な体験をいつも身近に感じながら仕事に携われることを幸せに思っています。

## 福祉用具貸与事業所

管理者 吉田勝利

ご利用者の皆様が、「住み慣れた家で快適に過ごせることができるように」と願いつつサービスを提供してきました。三年の間で、少しずつではありますが、福祉用具も改良されて利

## 通所介護事業

管理者 古屋英樹

ご利用者の生活に合わせることでできるようになってきています。まだまだ不十分ところはたくさんありますが、ご利用者の皆様一人ひとりの生活を考えながら、福祉用具を提供していきたいと考えています。

三周年を迎え、思い出すのは開設前に「大型のデイサービスを見に行こう！」と出かけた福岡への出張です。初めて見た大型のデイサービスにショックを受けつつ、帰りの飛行機を待っていると、エンジントラブルで福岡空港に缶詰状態。空港のロビーに同行のスタッフ達と車座になり新たなデイサービスへの夢を語り、朝方到着した羽田から一路長瀬に向かい更地を見ながら理想を思い描いたことでした。

今、その夢は現実となったのだろうか？理想は叶ったのだろうか？福岡の出張を思い出す度に思い悩みます。今後も初心を忘れることなく地域に根ざしたデイサービスを目指します。



チャプレン：chaplain  
患者様やご家族の心のケアに  
あたる専門職

社会福祉法人 日本医療伝道会  
法人付牧師 山田和人

もし、この絆がある日突然、見知らぬ誰かによって引き裂かれてしまったらどうなるだろう。子供の行方が知れなくなり、それが最悪の結果で家族に伝えられることになったとしたら、その後の人生を親はどうやって生きていくことができるだろうか。イギリスのロンドンに留学したことのある人から聞いた話である。現地で金髪の子供を持つ親たちは、子供の髪を一生懸命黒に染めるのだそうである。金髪の子供は誘拐される確率が高いからだと言った。

それは、ロンドンのような都市の話だからという説明はもはや意味を持たない。特定の地域の治安が良いとか悪いとかいう問題ではなく、その時その場で我が子の安全がどのように守られるかという問題であること、昨今の事件は私たちに警告として伝えている。

ネットワークとは、文字通り網の目の作業のことであり、地域の子供の安全を守るためには、異なる生活習慣や年齢で構成されている地域の人間が協力して子供の生活を見張ることが必要である。そのような人間の力を有効に用いるためには、氣付いたことを伝えられる雰囲気と関係性を近隣の人たちと築いていることが不可欠である。コミュニケーションが有効に機能しているところでは、日常生活のわずかな変化にも違和感を覚える感性が働くからである。大切なものを守るためには、念じていることを言葉にして相手にしっかりと伝えることから始まる。

主イエスは、いまや歓喜と熱狂の渦の中、エルサレムに迎えられました。弟子たちは高揚する気持ちを抑えられず、賛美の叫び声を上げます。「主の名によって来られる方、王に、／祝福があるように。／天には平和、／いと高きところには栄光」。するとそこに、主イエスの存在をいぶかしく思う人々が現れました。ファリサイ派たちです。彼らは主イエスに「弟子たちを黙らせてくれ」といいました。主は「あなたがたに言うが、もしこの人たちが黙れば、石が叫ぶであろう」と答えられました。誰にも止められない想いがある。もしそれを「口にするな」といわれたら、代わりに石が叫び声を上げる。弟子たちは目の前の、小さな口バに乗ったこの男こそ、新しい時代の王であることを確信していました。その心と同様に、彼らの目もまた燃えていたに違いありません。

けれども、やがて弟子たちは主イエスのもとから離れ去ります。苦しみの世界を、この男は良くし

# MINISTRY OF PRESENCE ミニストリー オブ プレゼンス チャプレンのダイアリー

## 大切な命を守るために

通勤途中によく見かける光景がある。黄色い帽子をかぶった小学生の女の子が、とぼとぼと一人で歩いている。お母さんは、女の子の姿が見えなくなるまで歩道に立って見送っている。女の子も何回も立ち止まっては後ろを振り返り、お母さんの手を振っている。帰宅するまで互いに安心して過ごせるようにと、互いの気持ちを確認し合っているような二人の姿に母と子の絆を感じる。

それは、ロンドンのような都市の話だからという説明はもはや意味を持たない。特定の地域の治安が良いとか悪いとかいう問題ではなく、その時その場で我が子の安全がどのように守られるかという問題であること、昨今の事件は私たちに警告として伝えている。

主イエスは、いまや歓喜と熱狂の渦の中、エルサレムに迎えられました。弟子たちは高揚する気持ちを抑えられず、賛美の叫び声を上げます。「主の名によって来られる方、王に、／祝福があるように。／天には平和、／いと高きところには栄光」。するとそこに、主イエスの存在をいぶかしく思う人々が現れました。ファリサイ派たちです。彼らは主イエスに「弟子たちを黙らせてくれ」といいました。主は「あなたがたに言うが、もしこの人たちが黙れば、石が叫ぶであろう」と答えられました。誰にも止められない想いがある。もしそれを「口にするな」といわれたら、代わりに石が叫び声を上げる。弟子たちは目の前の、小さな口バに乗ったこの男こそ、新しい時代の王であることを確信していました。その心と同様に、彼らの目もまた燃えていたに違いありません。

てくれなかった。ユダヤ人たちに捕まり、死刑が確定したこの男に付いて行けば破滅しかない。彼らは間違ったと思いました。賛美の叫び声は、もう彼らの口からは出てきませんでした。

処刑され、三日目に主イエスはよみがえられます。弟子たちは主の復活に驚きつつ、こう思いました。「道々お話しになったとき、また聖書を説き明してくださったとき、お互いの心が内に燃えたではないか」(ルカ二十四章三十二節)。

あのときの叫び声は間違っていた。まだ遅くはない。もう一度、燃える心をもって主にお仕えしよう。彼らの決意は、やがてその人生を決定付けました。

私たちにも、抑えられない想いがあります。よいことも、そうでないこともです。事情によって口に出せないこともあります。誰にも聞いてもらえないこともあります。しかし、その声は、主イエスには届くはず。石に叫ばせる前に、叫ぼうではありませんか。主に向かって。

### 聖句

### 「石が叫ぶ」

「あなたがたに言うが、もしこの人たちが黙れば、石が叫ぶであろう」  
ルカによる福音書 十九章四十節（一部抜粋）

日本基督教団 川和教会  
牧師 兼清啓司

# 元気が一番

みんなの健康応援します  
◆◆◆健康管理センター◆◆◆

## 腰痛予防実践プログラム①

衣笠病院 健康管理センター  
運動指導室 室長 大塚 洋



### 1 腰痛とは

腰痛になってしまいう最大の原因は、姿勢の悪さだと言われます。腰痛を防ぐには、まず、正しい姿勢を身につけること。背筋と膝をのぼす、あごを引く、お腹を引っ込める。このポイントを押さえ、日々、腰のためにも正しい姿勢を心がけましょう。



足をとじて筋力維持を！



肩のラインが耳より前にこないように！

### 2 腰を守るための工夫

#### ○腰を温める

痛みが強くないときは腰を温めると、痛みが軽くなることが多くあります。

#### ○肥満を防ぐ

肥満は腰への負担を重くします。食事の内容や運動などに気をつけて、肥満を予防しましょう。

#### ○同じ姿勢で作業するときの注意

同じ姿勢で作業するときは、長時間続けずに、三十分間作業をしたら二〜三分は休憩しましょう。ストレッチングで筋肉をほぐしたり、軽く歩くなどでも効果的です。

#### ○動くことを恐れない

腰に強い痛みがなければ、体を動かすように心がけましょう。動かさないとかえって筋肉が弱くなり、痛みが出やすくなったり、増したりします。積極的に体を動かして、腰痛に負けないように体を鍛えましょう。

### 3 腰痛予防のセルフチェック

※三つともクリアできない方は腰痛をお持ちの方、または腰痛を引き起こしやすい関節・筋肉の状態です。チェックしてみてください！

#### ○足首

両足、膝を揃え踵を床から離さずにかがみ



ます。踵が床から浮いてしまいがちな方は、足首周辺の筋肉や関節が固く、腰痛を引き起こしやすいです。

#### ○股関節

足の裏を合わせ、つま先をつかみ、踵を手前に引き寄せます。膝の位置が床から高く離れている方は、股関節周辺の筋肉が固く、腰痛を引き起こしやすいです。



#### ○大腿裏側

つま先、膝を上へ向け両足を開きます。膝が床から離れずに、踵を結ぶ線よりも手のひらが前に出ない方は、もの裏側の筋肉が固いことにより腰痛を引き起こしやすいです。



### 4 腰痛予防運動・ストレッチング

(次号腰痛予防実践プログラム②で紹介いたします)

予防指導をご希望の方は、  
下記までご連絡ください。

衣笠病院 健康管理センター  
健康運動指導士 大塚 洋  
TEL 046-852-1182

Information from Kinugasa

# Xmas Memories 2005



衣笠ろうけん

衣笠病院



長瀬ケアセンター



法人クリスマス会



小児科病棟



衣笠ホスピス



衣笠ホーム

## 行事カレンダー

- 2月 18日(土) 【健康講座】 手軽な運動で健康維持  
13:30~ 講師 水戸由和
- 25日(土) 第122回 パイプオルガンミニコンサート  
15:00~ 演奏者 濱 裕子
- 3月 25日(土) 【健康講座】 実践! バランスのとれた食事  
13:30~ 講師 龍崎桂子
- 第123回 パイプオルガンミニコンサート  
15:00~ 演奏者 石井富美

衣笠病院栄養科調理師と衣笠ホーム介護員の成人祝福式が行われ、橋本専務理事は若さを發揮して法人の活力となつてほしいと、お祝いの言葉を述べた。



衣笠ホーム介護員 芝里美さん

成人祝福式

衣笠 第412号  
〒238-8588 横須賀市小矢部2-23-1  
社会福祉法人 日本医療伝道会  
理事長 井口 延  
電話 (046)852-6256(法人)  
振替口座 00220-2-13963

記事中の写真は全てご本人様の承諾を得て掲載しています。



クリスマス！お正月！と楽しく過ごしている間にもう二月、如月。年々時間の経過が早くなるように思われてなりません。皆様はいかがでしょうか？  
新年の歩みが始まって一ヶ月が過ぎました。成長していく三人の娘たちの姿を見ながら、おれの人生は最高！と喜べる一年を過ごしたいなあ、と願いつつ、缶ビールのタブを抜いている今日この頃です。  
寒さもまったた中、今年も皆様のご健康を願ってカンパイ！！  
(Y・Y)

編集後記